

事業完了報告書

調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ～ 平成29年3月17日
調査研究事項	<p>《委託研究Ⅱ》 【徳島県】</p> <p>ア. 設置の需要に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内中学校教職員の中学校夜間学級についての認知の度合いや需要・設置に対する意識 ・意識調査（実施・回収・集計・分析・報告）について ・設置に向けた広報活動の在り方 ・公共交通機関を活用する設置エリアについて <p>イ. 入学要件に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既設置の自治体における入学要件等について ・進級・卒業について <p>ウ. 教員の配置・研修、教材その他学校運営に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級編制について ・教育課程・教材等について ・評価の在り方について ・教員の配置方法や勤務形態の在り方について ・設置までのスケジュール、設置に係る施設設備の整備・経費
調査研究のねらい	<p>平成28年度は、昨年度の取組より見えてきた実態・課題等、また国の法整備の動向を踏まえ、設置に至るまでの取組、設置に係る経費やコスト抑制の工夫、1県1校設置の場合の他市町村からの入学生徒受入れについての課題や方策、入学希望既卒者への対応、教員配置とサービス管理の在り方等についてさらに具体的に調査研究を進める。</p> <p>また、中学校教職員の中学校夜間学級に関する認知度や意識を把握することで、今後の広報活動や研修の在り方について検討する。</p>
調査研究の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度発足した市町村及び県教育委員会のメンバーによる「中学校夜間学級協議会」に県中学校長会の代表を加え、中学校現場の意見等を調査研究に反映させることができた。 ・既設置都府県への研究視察では、県及び市教育委員会・学校を訪問し、入学要件、教育課程、教員配置、校舎設置、設置に係る経費、広報活動等において様々な実態・課題等を調査することができた。また、在學生徒の実態や勤務している教員の思いなどにも触れ、中学校夜間学級の果たすべき役割について、改めて認識を深めた。 ・「公立中学校夜間学級に関する意識調査」では、県内5市の教育委員会・中学校に協力を依頼し調査を実施した。約80%の教職員から回答を得ることができ、中学校教職員の中学校夜間学級へ

	<p>の認知の度合いや「学び直し」へのニーズを把握するとともに、広報活動や教員配置についての課題が明らかになった。</p> <ul style="list-style-type: none">・意識調査の前後に教職員向けに広報資料を作成し配布した。中学校夜間学級への理解促進への第一歩となった。・研究視察や意識調査の結果を踏まえ、報告書『徳島県に合う中学校夜間学級の形』《2016》を作成した。昨年度の報告書を改訂する形で、どういう形が本県にとって望ましいかを協議・検討し、より具体的な方向性を提言することができた。
--	---